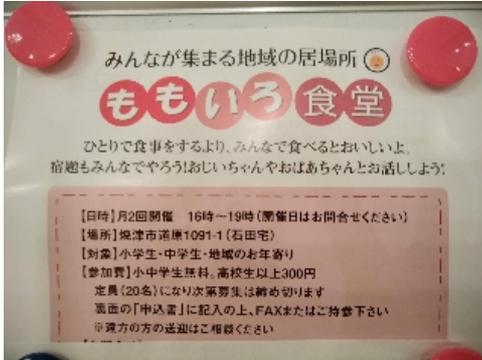


独居高齢者と子供たちを繋ぐ「ももいろ食堂」(焼津市)

子供たちやひとり暮らしの高齢者に食事を提供し、多世代交流の居場所活動が続いている、焼津市の「ももいろ食堂」。以前、社会参加促進フェア会場の活動紹介ブースで知り、是非伺いたいと思いながら、なかなかタイミングが合わないままになっていましたが、今回やっと機会をいただく事ができました。



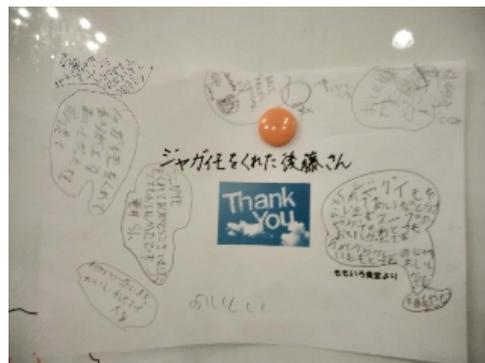
ももいろ食堂の活動は月に二日。第3火・水曜を基本に開き、活動は3年目に入っています。

子供たちは学校帰りに立ち寄り、食事の始まる夕方5時半までは室内で宿題をしたり外へ遊びに行ったり。お年寄りの利用者は、現在のところ、火曜は歩いて来られない他地区に住む方。送迎があり、到着するとしばらくはお喋りを楽しんだり子供たちと交わったり、賑やかな声に囲まれながらの時間を過ごしています。

5時半前には遊びに出ていた子供たちも戻り、皆揃ったところでメニュー紹介。今日は水を使わないカレーとスクランブルエッグ、ジャガイモのスープ。それにパイ生地の手作りパンも付いています。



子供たちがカウンター前に並び、お年寄りの分まで全員分配膳し終わると、皆で手を合わせ、「いただきます！」



食後は食材を提供してくれた方へお礼の寄せ書きをし、子供たちとボランティアスタッフでテーブルを片付け、赤い羽根共同募金から頂いたお誕生プレゼントのお菓子を持って皆で記念撮影。写真は食材などの寄付をくださった個人や団体の方へのお礼にします。

子供たちは7時までの間に親のお迎えが来るので、時間があればおばあちゃんたちに得意の芸を披露したりと、賑やかに待っています。



この活動は、子育ても一段落し、地域に何か貢献しようと集まった有志が『TEAMももいろ』を結成。海岸清掃などの活動を行う傍ら、家庭の事情で親の帰るまでお菓子を食べながら夕食を待ったり、孤食を強いられている子供の存在を知り、それならばと場所の提供にも恵まれてスタートしました。独居のお年寄りもお誘いすることで、地域の中でお年寄りと子供たちをつなぎ、声を掛け合える環境を作って安心できる地域にしたいという思いも込められています。はじめは地域内のお年寄りだけでしたが、昨年8月に焼津市ロータリークラブから軽自動車の寄贈を受けたことで送迎が可能になり、地域外のお年寄りもお誘いできるようになりました。



お話を伺うと、今日参加の皆さんも毎回この日を楽しみにしているとのこと。98歳の方もおられ、一緒に参加しているお友達も、この方には「感心する事ばかりでお手本よ」と褒め言葉の嵐。私がお話していてもとても98歳の方とは思えません。お元気なのでデイサービスなどの介護は何も受けておらず、家の事もちゃんとこなされていると聞いてますます驚きましたが、送迎して貰えるのはやはり有難いとのこと。お買い物について伺うと、食材は週一回買い出しの為にタクシーを使うのだそうです。高齢者の独り暮らしや免許証の返納が進む中、買い物や出かける為の足の確保は、誰もがいきいき暮らすためには必須です。早く便利さを感じられるような仕組みが欲しいと、今回のお話からも痛感しました。

水曜は歩いて来ることのできるこの地域の方が見え、参加されているのはどちらの日も6名程。人数はまだ少し余裕があるそうですが、なかなか男性に来てもらえないのが残念とお話。独居の男性こそ、こういう場を積極的に利用してほしいものです。民生委員さんや今通っている利用者の方を通じ、お誘いの声が掛かった時には、遠慮せず、面倒がらず、是非参加してみてください。スタッフには男性も居ますよ。子供たちは無料ですが、お年寄りと一緒に食事するスタッフからは、食材費として300円頂いていますので、タダでは気が引ける・・という遠慮もありません。

お問い合わせは、
FAX 054-623-3484 TEL 090-4192-5229 TEAMももいろ 小野さん までお願いします。

地域の力になろうと頑張ってくれているこうした若い世代の活躍は、頼もしく有難く、安心の源でもあります。シニア世代の私達も、迷惑を掛けたくないからと内に籠るのではなく、力の及ばないところは頼り、協力できることには積極的に関わり、独居になっても助け合いながら暮らせる、あたたかな地域をつくるお手伝いをしていきましょう。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江